※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ（理）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　数学Ｂ」　（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業にしっかりと理解し、復習をメインにして傍用問題集でより深い理解をめざそう。「継続は力なり」です。１年間、しっかりと取り組んでください。**数学Ｂ、数学Ｃ週３コマの授業で、１学期は数学Ｃの「ベクトル」、２，３学期は数学Ｂの「数列」、「統計的な推測」の内容を扱います。**

２　学習の到達目標

(1)　数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期は数学B、数学Cの計3コマで、数学Cの「ベクトル」を扱う。						
2学期	第1章　数列	第１節: 等差数列と等比数列 第２節: いろいろな数列 第３節: 漸化式と数学的帰納法	a: 数列の基本的な概念や原理・法則を理解しているか。事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。 b: 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察することができるか。 c: 数列に興味をもち，それを活用しようとする意欲があるか	定期考査	定期考査 提出ノート ワークシート等	観察 提出ノート 振り返りシート 発表等
3学期	第2章　統計的な推測	第１節:確率分布 第２節:統計的な推測	a: 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を理解しているか。事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。 b: 確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測・判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察することができるか。 c: 統計的な推測に興味をもち，それを活用しようとする意欲があるか	定期考査	定期考査 提出ノート ワークシート等	観察 提出ノート 振り返りシート 発表等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度